

「令和2年度 第1回 日進市にぎわい交流館運営協議会」書面会議における委員意見と事務局回答一覧

■開催日 令和2年5月28日（木）

■意見提案書 10通（委員数10名）

■提出意見数 30件（うち非公開議題（3）について7件）

■日進市にぎわい交流館運営については全委員より認められました。（今後の修正・検討事項を含みます。）

意見番号	箇所	委員の意見	事務局の回答
1	議題（1）	令和2年2月後半から3月末まで、閉館の状況に関わらず、それまでの実績から考えて前年と変わらない実績を上げたと考えます。また昨年度のわいわいフェスティバル事務局として充分運営を務めた中での実績を評価します。	今後も感染症拡大防止対策のうえで、館の運営に努めてまいります。
2	議題（1）	新型コロナウイルス感染症対策を団体としても考えていきたい。	ご協力ありがとうございます。
3	議題（1）	お世話になりました。ありがとうございます。	ありがとうございます。
4	議題（1）	令和元年度の運営実績については、新型コロナウイルス感染症防止に伴う休館によるものを除きほぼ例年利用実績の変動に伴うものであり、問題なく適切に運営されているものと判断されます。なお、会議室利用の上限ルール設定については、件数の減少が認められるものの、団体数の増加が見込むことができること、過密状態解消による新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年も継続していくことが望ましいと考えます。	今後も感染症拡大防止対策のうえで、館の運営に努めてまいります。
5	議題（1）	受託・自主事業も多岐にわたるテーマを量と質を確保しながら検討・実施していることが資料から伺うことができ、参加への意欲を向上させるものでした。その中から2点詳細を伺います。資料1のP4にある表中、相談内容の“その他”の件、前回会議で詳細を表記すると聞いていますが、割合の大きい事項ですので内容を伺います。また、P6にあるNPO読書会第2回の参加人数が少なかったか、またどのように実施されたかを伺います。主旨が素晴らしく、関心のある事業であるため疑問に思います。	相談内容“その他”の内訳については「ボランティアしたい」、「広報・集客について」、「助成金・資金調達について」、「人間関係・労務関係について」、「館の運営・事業について」、「市の施策について」で、項目ごとに差があります。その内約8割を占めており前記に当てはまらない項目として「その他」としてその内2割としての詳細になっております。 NPO読書会については題材図書を分担して読書し、意見交換することで専門性・信頼性の高い学びの場を作ることでしたが、その手法に馴染みが少なかったため思うように参加者が伸びなかったと評価しています。本事業を評価いただいたことを今後の周知や実施に反映させてまいります。
6	議題（1）	（5）14 日曜・祝日の喫茶提供について「市民の安らぎや和みのひと時を生み出す一助」であれば提供を行ってはどうか。ただし、紙コップを使用し、包装済の食品などを提供してはどうか。お茶についても紙コップ代のみ有料化も必要となるが、にぎわい交流館の設置目的「広く市民が集う場」となるのでは。	喫茶提供について感染症拡大防止対策のうえで、実施の方法を考えてまいります。

意見 番号	箇所	委員の意見	事務局の回答
7	議題 (1)	<p>(1) 会議室等利用実績につき適切と認められます。</p> <p>(2) 市民サロン運営実績につき、妥当と考えられます。特にワンディシェフのランチ提供は一日当たり食数から見て堅調と判断できます。</p> <p>(4) 相談件数について、具体的な相談内容（・印のもの）を引き出してきている点、評価されたい。</p> <p>(5) 実績報告、各活動につき、堅調であると思われる。新型コロナウイルスの影響により「振り返り」が実施できなかったことは残念だが、どこかの機会で経験交流を図りたい。その点に照らし「まちづくりゼミ」の企画、素晴らしいと思います。日・祝日の喫茶提供について、目立たないが地盤（市民活動の）として有効性があると思量されます。その他特記事項の「情報交換（不定期）」：についても、非常に素晴らしいと思います。</p>	<p>(1)・(2) 運営評価について今後の間の運営に反映させてまいります。しかしながら今後については感染症拡大防止対策の上での実施により単純比較ではなく、実施方法等で示してまいりたいと考えております。</p> <p>(4) 相談内容については、様々な内容を引き出すことできるように今後も努めてまいります。</p> <p>(5) 感染症拡大期におけるの事業実施は全てが今後の事業実施への参考となることから振り返りとその経験を情報共有してまいりたいと思います。</p> <p>喫茶提供について感染症拡大防止対策のうえで、実施の方法を考えてまいります。</p>
8	議題 (1)	<p>今回のコロナウイルス感染症の影響で、交流館の利用者数、利用件数が減ったことはやむを得ないことだと思います。数量よりも質が問題だと思いますので、過密度が軽減されたことで、利用者が心地よく利用でき、満足度が高いようでしたら良いと思います。少ない人員で様々な企画や相談に応じている様子が報告書から伺えます。</p> <p>特に自主事業を通じて団体間の交流やつながりを強化する企画は、今後も是非続けてほしいと思います。多岐にわたるスキルを求められる仕事ですので、スタッフの皆様の過重な負担とならないように、またスキルアップの機会を得られて、それを団体および一般の人に還元いただくことを期待しております。</p>	<p>感染症拡大防止対策のうえで、事業の実施ができるように考えてまいります。</p>
9	議題 (1)	<p>印刷機の利用件数の減少について対策は必要ではないでしょうか。</p> <p>和室の利用率減について対応を望みたい。</p> <p>ギャラリー開催回数の減について、展示場所に工夫を望みたい。</p>	<p>ご提案については今後の運営で考えてまいります。</p>
10	議題 (2)	<p>新型コロナウイルス感染症の経験から公共サービス領域の増加を求めず内容の見直しと充実を図ることも大切に考えます。同じような状況になっても次回は活動を停めることなく事態への準備をNPOへ周知し支援していただくことは如何でしょうか。</p>	<p>感染症拡大防止対策の上で、その中でのNPO支援についての検討に努めてまいります。</p>

意見番号	箇所	委員の意見	事務局の回答
11	議題 (2)	困難な時期ですが、多くの人に必要とされるにぎわい交流館の運営に努めてください。(ソフト面、ハード面ともに)	今後も感染症拡大防止対策のうえで、館の運営に努めてまいります。
12	議題 (2)	新型コロナウイルス感染症の第2波が懸念されるなか、各団体の活動が減少されることが予想されます。運営計画の長期成果の数値目標 (R2) のうちA: 行政とNPOの協働事業件数とC: ボランティア・NPO活動への参加件数のある市民の割合の達成は難しいと思います。いずれも第5次日進市総合計画に基づくものであるのですが、感染症拡大の影響を考慮していないため、直近3ヶ年の実績・現状維持が現実的と考えます。※4としてP12の注記を追記してはどうでしょうか。また、市行政とリンクしている各団体の事業については、協働で実施し、将来的には有償ボランティア制度を導入し、相互の負担経験等に繋がられないものでしょうか。	感染症拡大防止対策のうえで、実施できる事業についてはその影響を考慮して成果の評価ができるように考えてまいります。また、ご提案については今後の運営で考えてまいります。
13	議題 (2)	社会状況が厳しい局面において、数々の計画変更を迫られていることと思います。わいわいフェスティバル啓発事業やファシリテーション講座のような新規事業が小規模であっても何か手応えの得られるようなものとなることを願っております。	感染症拡大防止対策のうえで、事業の実施ができるように考えてまいります。
14	議題 (2)	新型コロナウイルス感染症の対策については、しっかりと行っていただきたい。経験のないことで大変かと思いますが、市民ボランティア、市民が安心・安全に参加できる環境が大切だと考えています。何かあれば援助することもできると思います。	感染症拡大防止対策のうえで、事業の実施ができるように考えてまいります。
15	議題 (2)	市による(長期ないし中期)計画、目標との関連に鑑み、展開していただきたい。一部の項目については、ややストレッチした目標と捉えられる部分もあるかと思いますが、市民(自治)活動の礎となるよう、継続的に実施されたい。なお、計画展開、実施に際しては、市当局(市民協働課)と連携の上、行われることを希望(要望)します。	感染症拡大防止対策により、事業については市と指定管理者が連携して実施していきます。継続して市民自治活動の支援に努めてまいります。
16	議題 (2)	ビジョンと長期成果のツリーについては賛成です。これらをいかに達成していくのかについては、方法を検討することが必要ですね。新型コロナの終息が予測できない今、事業のあり方も柔軟であることはやむを得ないと思います。そして社会の変化に対応する姿勢が大切だと思います。対面事業をオンラインで実施する試みは、新たな世代や興味を引き起こすことにつながると思います。	感染症拡大防止対策のうえで、実施できる事業についてはその影響を考慮して成果の評価ができるように考えてまいります。
17	議題 (2)	情報収集および発信について、SNS等の効果は体感しており、是非効果的な利用を望みます。高齢者世代に焦点をあてたサロンに利用方法などを検討したらどうでしょうか。またファシリテーション講座の開講はお願いしたい。オンライン開催については、様々参加者の状況に配慮を望みたい。	ご提案については今後の運営で考えてまいります。

意見 番号	箇所	委員の意見	事務局の回答
18	議題（４）	<p>3月からのコロナウイルス感染症拡大防止策の影響でワンディシェフが無くなり、足が遠のきました。このように来館者が減っても様々な仕事があり、市民活動の縁の下の力持ちとして貸館の運営だけでなく、活動支援での実績を広くPRできればと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で再開でも制限があり不便ではありますが、仕方のないことと思います。</p> <p>わいわいフェスティバルの中止は残念ですが、その中で伝えていたSDG s に関しては様々な形で発信していけば、きっかけになるのではないのでしょうか。中長期的にはランチに依らず、多くの人々が来館して繋がる仕組みを考えてもらえればと思います。</p>	<p>ワンディシェフ、わいわいフェスティバルについては感染症拡大防止対策のうえで、どのように実施していくことができるかを考えてまいります。</p> <p>わいわいフェスティバルの中止については別の形で何らかの発信を行い、来年度に繋げていくことが出来ればと考えています。</p>
19	議題（４）	<p>新型コロナウイルス感染症防止のための具体策として次の事を検討しては如何でしょうか</p> <p>ワンディシェフ、ランチコンサートテイクアウトの導入、にぎわい交流館西側での桜の木陰を利用したテラス席の設置、ランチコンサートは屋外のテラス席で実施</p> <p>にぎわい交流館の1階で各団体のブースを設置</p> <p>週単位で1団体づつブースを開設し、活動の支援のための物品販売、啓発報告、会員募集を行う。</p>	<p>ご提案については今後の運営で考えてまいります。</p>
20	議題（４）	<p>新型コロナウイルス感染症に対する業務に関わらず、各団体の活動にたいしてご理解と支援を行うスタッフに感謝いたします。</p> <p>にぎわい交流館の歴史を踏襲しつつ、新しい時代に合った、この土地ならではの運営をなさることと存じます。</p> <p>資料のP1に仕事を求めている活動団体への相談があった旨記載がありますが、そのような求めがあるなかでボランティアであることを忘れずに違った感性や能力を持つ人々が連携して地域の発展に寄与できればと考えております。</p>	<p>ご協力ありがとうございます。</p>
21	議題（４）	<p>本年度も宜しく願い申し上げます。交流館スタッフの皆様、市民協働課様はじめ皆さまの活動、市民（団体）皆様方の取り組みに敬意を表します。</p>	<p>ありがとうございます。</p>
22	議題（４）	<p>3密を避ける企画や実施は、かなり大変なことと思います。ランチ提供におけるテーブルの設置や密接を防ぐための会話禁止にかわるコンサート（ライブとレコードなど）など、一つ一つの見直しが求められるので「広く市民が集う場」の具体的なあり方が検討されることを望みます。</p>	<p>感染症拡大防止対策のうえで、事業の実施ができるように考えてまいります。</p>
23	議題（４）	<p>コロナ禍で混乱するなか、その中で支援を必要とする人への活動する団体を知ってほしいと思います。また、その活動を私含め支援できればと考えます。</p>	<p>ご協力ありがとうございます。</p>